

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 5 区分

【発行日】令和 2 年 4 月 23 日 (2020.4.23)

【公表番号】特表 2019-513910 (P2019-513910A)

【公表日】令和 1 年 5 月 30 日 (2019.5.30)

【年通号数】公開・登録公報 2019-020

【出願番号】特願 2018-551923 (P2018-551923)

【国際特許分類】

D 0 1 F 6/96 (2006.01)

C 0 8 G 59/50 (2006.01)

B 0 1 D 39/16 (2006.01)

D 0 1 D 5/04 (2006.01)

【F I】

D 0 1 F 6/96

C 0 8 G 59/50

B 0 1 D 39/16 A

D 0 1 D 5/04

【手続補正書】

【提出日】令和 2 年 3 月 11 日 (2020.3.11)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

微細繊維を作製するための方法であって、前記方法が、
ポリマー成分を備える工程であって、前記ポリマー成分は、4 - ビニルピリジン含有ポリマーを含む、工程；

4 - ビニルピリジンとは錯体を形成しない溶媒を備える工程；

エポキシを備える工程であって、前記エポキシは、少なくとも二官能性である工程；な
らびに

前記ポリマー成分、前記溶媒、および前記エポキシを組み合わせ、組成物を形成させ
、前記組成物から複数の繊維を形成させて、前記組成物からそれぞれの繊維の全体が形成
されるようにする工程、を含み、

前記 4 - ビニルピリジン含有ポリマーと前記エポキシは、前記組成物の温度を 80 より
上に上げることなく反応する、方法。

【請求項 2】

前記ポリマー成分、前記溶媒、および前記エポキシを室温で組み合わせ、前記 4 - ビニ
ルピリジン含有ポリマーと前記エポキシは反応し、前記組成物の温度を室温より上に上げ
ることなく、前記複数の繊維を形成させる、請求項 1 に記載の方法。

【請求項 3】

前記ポリマー成分、前記溶媒、および前記エポキシを組み合わせ、組成物を形成させ
ること、および前記組成物から複数の繊維を形成させることが、同時に実施される、請求
項 1 または 2 に記載の方法。

【請求項 4】

前記ポリマー成分、前記溶媒、および前記エポキシを組み合わせ、組成物を形成させ
、前記組成物から複数の繊維を形成させる工程は、

前記ポリマー成分、前記溶媒、および前記エポキシを混合する工程；
前記 4 - ビニルピリジン含有ポリマーとエポキシとを反応させる工程；ならびに
前記溶媒の少なくとも一部を除去する工程

を含む、請求項 1 ないし 3 のいずれか一項に記載の方法。

【請求項 5】

コーティングされた微細繊維を作製するための方法であって、前記方法が、
ポリマー成分を備える工程であって、前記ポリマー成分は、4 - ビニルピリジン含有ポ
リマーを含む、工程；

4 - ビニルピリジンとは錯体を形成しない溶媒を備える工程；

エポキシを備える工程であって、前記エポキシは、少なくとも二官能性である、工程；
繊維を備える工程；ならびに

前記ポリマー成分、前記溶媒、および前記エポキシを組み合わせ、組成物を形成させ
、前記組成物を用いて前記繊維をコーティングする工程、を含み、

前記 4 - ビニルピリジン含有ポリマーと前記エポキシは、前記組成物の温度を 80 よ
り上に上げることなく反応する、方法。